

U054-025

会場: オーシャン B

時間: 5月15日 12:00-12:15

## 輻射圧優勢降着円盤の輻射流体シミュレーション

### Radiation hydrodynamic simulations of radiation pressure-dominated accretion flows

# 大須賀 健 [1]

# Ken Ohsuga[1]

[1] 立大・理

[1] none

[http://www.rikkyo.ne.jp/~k\\_ohsuga/](http://www.rikkyo.ne.jp/~k_ohsuga/)

我々は、コンパクト星周囲における輻射圧優勢降着流の2次元輻射流体シミュレーションを実行した。その結果、輻射圧駆動型のアウトフローを伴う超臨界降着流の準定常構造を解明した。さらに、質量降着率がエディントン降着率をわずかに超える場合、降着円盤が周期的に状態遷移を繰り返す事を発見した。この結果は、マイクロクェーサー GRS1915+105 の光度変動の振幅及び時間間隔をよく説明する。